

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学呼吸器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。福島県立医科大学附属病院での診療情報（カルテ等）で収集した情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 6 月

福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座 岡部 直行

■ 研究課題名

福島県立医科大学附属病院における術前気管支鏡下バリウム/ICG 併用マーキングを用いた触知困難な末梢小型肺病変に対する楔状切除術の有用性を検討する後ろ向き観察研究

■ 研究期間

2026 年 6 月 ～ 2028 年 3 月

■ 研究の目的・意義

触知が難しい末梢小型肺病変（肺の抹消部に位置する小さな肺癌の一種）では、手術中に病変の場所を正確に確認し、十分な切除断端を確保することが重要です。当科では、術前に気管支鏡を用いてバリウムと蛍光色素（以下 ICG）を併用して病変近傍をマーキングし、手術中に蛍光観察を行いながら楔状切除を実施してきました。本研究では、この方法が病変の局在確認や切除断端の確保にどの程度有用であったかを、既に行われた診療情報を用いて後ろ向きに検討します。得られた結果は、将来同様の病変に対する手術精度の向上に役立つことが期待されます。

■ 研究対象となる方

2022 年 7 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、福島県立医科大学附属病院で術前気管支鏡下バリウム/ICG 併用マーキングを受け、その後に胸腔鏡下またはロボット支援下楔状切除術を受けた方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から手術記録、画像、病理記録、外来フォローアップ記録から、研究に必要な情報を収集します。

収集する主な項目は、年齢、性別、併存疾患、病変の大きさ、C/T ratio、病変の位置、マーキング時の情報、術中に病変を確認できたか、手術時間、出血量、病理結果、切除断端、術後合併症、

再発の有無などです。

研究のために新たな採血、検査、来院をお願いすることはありません。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 7 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学 呼吸器外科学講座であり、研究責任者は呼吸器外科学講座 岡部直行です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学 呼吸器外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

本研究は単機関研究であり、現時点で他の機関へ試料・情報を提供する予定はありません。外部委託や海外提供も行いません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座 担当：渡部 晶之

電話：024-547-1252 FAX：024-548-2735

e-mail：mw6162@fmu.ac.jp